

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス あお			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～	令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	72	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～	令和7年12月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や気持ちに寄り添い、安心して過ごせる関係づくりを大切にしています。	子どもが見通しをもって行動できるよう、活動の流れや空間構成を分かりやすく整えています。	今後は学校や地域、関係機関との連携を深め、子どもたちの経験の幅を広げていきます。

2	発達しやすい柔軟性のあるからだへ整える手当やビジョントレーニングを通して、心身の土台を整える支援を行っています。	一人ひとりが自分で選び、考えて動けるような関わりを日々意識しています。	地域との関わりを通して、社会性や人との関係づくりを育む機会を増やしていきます。
3	信頼関係を基盤に、学びや生活につながる力を育てていることが強みです。	また、保護者との情報共有を大切に、家庭と連携した支援を行っています。	職員研修を重ね、支援の質の向上に継続して取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部の取組について、保護者や地域に十分伝わりきっていない点が課題と考えています。	切にする中で、情報整理や発信に十分な時間を確保しにくいこと	今後は、通信や面談を通じて支援内容やねらいを分かりやすく伝えていきます。
2	活動内容や支援の意図が分かりにくい場面があり、理解の差が生じることがあります。	保護者ごとの関心や理解の深さに差があることも影響していること	あわせて職員間で情報共有の方法を見直し、説明の質の向上を図ります。

3	情報発信や説明の工夫が、今後さらに求められると感じています。	伝え方やタイミングを含めた工夫が必要だと考えています。	継続的な振り返りを行い、保護者に安心していただける取組を進めていきます。
---	--------------------------------	-----------------------------	--------------------------------------